

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室きらり大阪狭山金剛校		
○保護者評価実施期間	2024年12月15日		～ 2024年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2024年12月15日		～ 2024年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全職員がすべての児童の支援を行うことができる。また、状況を見て行動することができる。	支援内容の共有を意識し、次の支援へとつなげている。また、利用者様や初めて来所される児童・保護者様、関係機関の迎え・見送りを全員で行っている。	報告・連絡・相談等を行うなど、職員同士のコミュニケーションの機会を高めていく。
2	児童や保護者様に寄り添った関わりを持つことで信頼を得ている。	振り返りの時間を大切に、保護者様の相談援助・家族支援などを行い、次の支援内容へつなげたりしている。	定期的に支援見学をしていただく機会を作り、振り返りや家族支援等へつなげていく。
3	多様な支援プログラムを提供することができる。	児童一人ひとりを多角的な視点で分析し、アプローチを行うことで、個々に応じた支援内容を提供している。	各指導員の支援ツールや方法を共有する機会を設け、支援内容の充実・質をアップさせていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様への危機管理（防災・感染など）に関する周知	実施予定・実施の様子などを周知ができていない。	教室内への掲示やHP等を使い実施の様子の周知や参加の案内を行っていく
2	ペアレントトレーニング・保護者様へのサポート	送迎時に一旦事業所を出られる方が多く、保護者様に直接支援を見てもらう機会が作れていない。	支援見学週間などを定期的に設け、直接支援を見てもらいながら、お子様との関わり方のヒントを見つけていただく機会を作る
3	地域資源の活用があまりできていない。	活用方法などが見いだせないため。機会を作れていない。	アンテナを張り地域行事などの情報を取得し、ご利用者様へ発信していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子どもサポート教室「きらり」大阪狭山金剛校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 18

回収数 16

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	6	0	0	少しせまいかな?とも思う。(①) ややせまい気はする。(②)	①振り返りの方法を工夫(支援内容や児童の様子などの伝え方・保護者様にお話しを聞く際の切り出し方など)し、限られた時間内でできるようにしていく。空いているスペースを活用したり、内容の順番の変更や限られたスペースで行える内容を考えていく。 ②今後も児童の安全面等に配慮しながら環境設定を行っていく。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	0	0	0	きちんと見ていただいているので、足りていると思う。(③)	③今後も児童一人ひとりに全職員で関わっていただけるようにしていく。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	3	0	0	バリアフリーにはなっていない。(④)	④今後も初めて来所の方でも一目でわかるような環境作りを行っていく。また、今すぐにすべての施設をバリアフリーにすることは難しいが、可能な限りの段差などを減らす工夫と安全性を高めていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	3	0	0	(⑤)	⑤定期的に掃除や消毒を行い清潔な空間作りを行っていく。また、保護者様に支援の様子を見てもらう機会を設けていき、実感してもらえるようにしていく。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	0	0	子どものレベルに合った指導をしていたらと思う。(⑥)	⑥今後もアセスメントを適切におこないながら、お子様のご様子をごまえた充実した支援を行っていく。
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	0	0	1	(⑦)	⑦保護者様のニーズやお子様のご成長などを共有しつつ、より良い支援を心掛けていく。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	15	1	0	0	(⑧)	⑧ご利用者様に支援の狙いなどを分かりやすく提示していく。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	3	0	1	家族支援がよくわからない。(⑨)	⑨ご契約時や個別の支援計画の説明時に、ひととおりの説明はしているが、一度にたくさんのお話をするので、ご理解いただけるまでお伝えする必要がある。保護者様やご家族に寄り添った支援を心掛け、地域との連携を図り、多くの目でお子様を見守っていく。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	0	(⑩)	⑩今後も計画に準じて支援を行う中で、お子様のご成長や保護者様のニーズの変化により半年に1回見直しをしていく。
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2	0	0	(⑪)	⑪お子様のご成長や保護者様のニーズに合わせ、随時支援内容を工夫していく。担当制でない部分を活かしながら、多様な方法で活動プログラムを実行していく。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	4	3	3	6	子ども園との交流はないが、小集団で他の子と活動する機会があった。(⑫)	⑫「きらり」だけでなく多くの関係機関でお子様を見守れるような方法を考えていく。 ※小集団・イベントを通して他児との関わりを持つ機会を作っていく。※地域イベント等のチラシを教室内に掲示して地域交流の機会を作っていく。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0	(⑬)	⑬今後も面談・体験・契約時の説明から内容の変化があった際に説明をできるように心掛けていく。また、保護者様が手に取って見られるようにするなど環境を整えていく。

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	1	0	0	(16)	⑯引き続き説明を行っていく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング ※5 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	4	2	研修会や情報提供の機会はないと思う。(15)	⑮保護者様同士のつながりを持てるような会を提供できるように方法を考えていく。また、家庭での支援等、こちらからの情報発信を積極的に行っていきたい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	13	3	0	0	(16)	⑯欠席時の体調の確認を行っていくと共に、ご家庭や学校での児童の変化等について、綿密に話せているご家庭とそうでないご家庭があるかと思うので、積極的にこちらからおうかがいする機会を設ける。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	4	1	0	(17)	⑰振り返り時に、保護者様からのご相談を受けることはあるが、おうかがいして職員共有でとまってしまうこともあると思われる。何かしらお返しできるような努めていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	2	0	0	職員によると思う。(18)	⑱保護者様の思い等に寄り添いながら、お子様のご様子も踏まえた支援ができるよう、専門性のあるアセスメント力をつけていく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	5	8	そのようなものはないかと思う。(19)	⑲イベントを実施する中で、保護者様同士が繋がれるような会も同時に開催するなどしていく。また、時間や内容についても早めに案内できるようにしていく。さらに、イベントの開催にあたっては、きょうだい児もご利用いただけるような環境設定を行っていくようにしていく。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2	0	1	(20)	⑳振り返りの際にお聞きしたご相談等について、他の職員とも共有し解決策を考え、実行していることがご家族に伝わるように心がける。また、ご家庭によって差が出ないように、職員全員で全体を把握できるようにしていく。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	2	0	1	きちんと話していただいている。(21)	㉑お子様への伝達はここに配慮しているが、保護者様への伝達は、口頭になりがちである。視覚的にわかりやすい伝達の機会を増やしていく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	6	1	2	(22)	㉒多くのツールは活用できていないが、発信していることをご存じないご家庭もあるため、広く周知できるように工夫したい。イベントの様子や空き状況など、情報提供を定期的に行っていく。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1	0	0	(23)	㉓今後も個人情報の保管を行い、情報漏洩のないように努めていく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	3	1	3	(24)	㉔丁寧にお伝えできていないこと、マニュアルのある場所を周知できていないことがあるため、保護者様が見てわかるような提示方法を考えていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	4	1	7	知らない。(25) (26)	㉕保護者様が見てわかるような提示方法・口頭でもお伝えできるようにしていく。 ㉖定期的の行えるように心掛け、保護者様や児童へも参加してもらうなど実施できるように心掛けていく。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	4	0	4	(27)	㉗保護者様に計画等お伝えできていないと思われる。安全の確保は、できる限りを尽くして支援しているが、至らない点もあると思うので、定期的におうかがいして改善に努める。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	3	0	2	今のところ事故はない。(28)	㉘事故や怪我等はほとんど起こっていないが、起きた際には、振り返りですみやかに伝えし、予後についても必要に応じて連絡している。

満足度	27	ごどもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0	楽しそうにしているので良かった。 (㊸)	㊸少なくとも2人の指導員で担当させていただいているが、お子様が色々な指導員と馴染むスピードや順応性をお持ちなところも有難い。今後も安心して通っていただけるように安全面・衛生面などを保てるようにしていく。
	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	16	0	0	0	(㊸)	㊸「楽しみ」と思って来ていただけることが第一に嬉しく大切だと考える。今後もお子様が行きたいと思ってもらえるように支援内容や環境を整えていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0	支援員の方によると思う。(㊸)	㊸お子様は安心感をもって楽しみにさらりに来ていただいても、保護者様のニーズ等にこたえきれていない部分を感じている。今回のご意見を重く受け止め、このアンケート内ではうかがいきれなかった部分について、関係を深めていくこと、そして率直な意見を言っていただけ環境を整えていけるように心掛けていく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」大阪狭山金剛校				公表日	2025年 2月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・利用人数が多い時間帯で、隣のお子さんの声が気になって集中しづらいお子様がいた際には別室を使うなど工夫している。	・パーティションに不安定なものがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・去年に比べると職員の人数が増えたことで、必ず一人は空きの職員が居る状況の中で、振り返りの際にお子さんと遊んだり一人にならないように気を配っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・高さ調節ができる机と椅子を購入するなど工夫している。 ・不要な段差はあるが、環境上の配慮は可能な限りしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・少し狭さは感じる部分もあると思うが、心地よく過ごせるよう毎日掃除や消毒を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・完全に個別の部屋ではないが、お子様からの発信があったり、必要に応じても振り返りの部屋などを使用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・話し合いから振り返りまで、こまめに情報共有を行い何か改善できることがあれば、みんなで考えている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・評価表のみならず、日々の振り返り等でご要望は聞いており、可能な限り答えられるよう職員共有している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・意見を活発に交流している訳ではないが、情報共有の時間を設けたり、何か改善できることがあれば、みんなで考えている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			・教室内での周知がしっかりと出来ていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・毎月定期的に研修があり、毎回受講できている訳ではないが、必要な研修を受けるとも勉強になっている。		
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			・公表に向けて作成を進めていく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・職員全員でお子様に関わり、多角的にアセスメントしている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・モニタリング時だけでなく、普段からすべてのお子様について情報共有している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			・標準化されたフォーマルなツールが周知されていない。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				

支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・初めて支援担当する時や、一人ひとりのお子様の情報共有をこまめにするなど、必要に応じて、お子様に合わせた固定のプログラムを考えたり、小集団の内容を考えたりしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・担当制ではないため、お子様の特性を踏まえ、多様なアプローチ方法で支援を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・明記できていないかもしれないが、必要のあるお子様へは、小集団の声掛けを行い参加してもらうようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎日ではないが、こまめな打ち合わせをタイミングを見て行い、抜け目がないようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・当日中ではないが、翌日には共有できるように情報共有の時間を設けたり、共有スペースへ上げるなどしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・担当制ではないため、誰が読んでも分かりやすいように記録し、記録を基に次の支援を組み立てている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・職員全員でお子様に関わり、多角的にアセスメントを行い、多様なアプローチ方法で支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・担当制ではないが、頻繁に該当のお子様の支援を行っている指導員が参画するようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・保育・教育等の関係機関とは、いつでもつながれるよう定期的に市の集会には参加している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・相談支援事業所さんを中心に、移行・併行支援については行えるように意識している。 ・保護者様より園や他の他事業所の様子をお伺いし、ご要望があれば連携して行っている。	・最低限のことは行えているが、園と直接お話をして共有できていることは少ない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・「きらり」が主体で行えてはいないが、必要に応じて、「きらり」の様子をまとめたプリントを作成してお渡ししている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・市の集会・研修にて助言や専門的なお話を聞く機会を設けていた。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			・地域のお子様との交流の機会を設けることが難しく、中々活動出来ていないが、利用者同士で交流する機会を設けている。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○			・研修などは行っていないが、チラシを掲示したり、支援の振り返り時に、ご家庭でも行えるようなことを助言をすることはある。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。		○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		○		・振り返りの際などに悩みなどをお伺いし、相談に応じている。内容によっては、一旦持ち返って職員間で共有してからお話をしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○			・お知り合い同士の保護さんは、よく話されているが、場の設定を「きらり」として持っていない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○		・ホームページやLINEをメインに行事の発信や空き状況、イベントの様子などを発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○			・主体となって地域への周知活動を行っていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○			・マニュアルはあるが、積極的に周知できていない。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		○		・特に、てんかんのお子様については別紙で可視化している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○			・安全確保は細やかに行っているが、書面で丁寧に周知できていない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○				